

2006年1月23日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

液晶ドライバIC用2層めっき基板の新工場建設について

住友金属鉱山株式会社(本社:東京都港区 社長:福島孝一)は、大型TFT(Thin Film Transistor)液晶ドライバIC実装基板材料の分野で独占的なシェアを有する「2層めっき基板(商品名:S P E R F L E X)」について、旺盛な需要に対応するため、本年度約82億円の設備投資に引き続き、2006年度に約70億円を投じて愛媛県新居浜市に新工場を建設することといたしました。2005年度末の年間生産能力は460万㎡ですが、今回の計画でこれを2006年度末までに650万㎡に引上げることといたします。

パソコン用モニターや薄型テレビなどに使用されているTFT液晶パネルは、大型化と高精細化が進んでおり、これに伴いドライバICの実装方式も、3層構造のTCP(Tape Carrier Package)方式から、ファインピッチ化に対応した、2層タイプのCOF(Chip On Film)方式へと急速に移行しています。現在COF方式が占める割合は約60%(当社推定)ですが、2008年度には90%を超えると予想しております。

COF用基板材料については、上述のとおり引き続きTCP方式からCOF方式への移行による代替需要が見込まれるほか、最近の薄型テレビの急激な普及により、更なる需要拡大が期待されます。

このような市場環境のもと、当社は、大型TFT液晶用COF基板材料のトップメーカーとしてさらに事業拡大を図るため、従来の製造2拠点(磯浦工場および新居浜電子株式会社(いずれも愛媛県新居浜市))に加えて、新たに新居浜市内の当社所有地(新居浜市王子町)に新工場を建設し、増産を図ることといたしました。新工場は、2006年2月に着工し、同年10月からの稼働を予定しております。なお、新工場の運営については、当社100%子会社である新居浜電子株式会社が製造を受託する予定です。

当社の「2層めっき基板」は、従来からCOF用基板材料として加工性・折り曲げ性に優れるなどの点で高い評価を受けておりますが、これによりさらに高品質な製品を安定的に供給できる体制を充実させるとともに、今後とも日々高まるお客様のご要望にお応えしてまいります。

(ご参考)

新工場の概要

- 1.所在地 : 愛媛県新居浜市王子町乙1961-1
- 2.敷地面積 : 19,850㎡
- 3.建物概要 : 鉄骨2階建て 延床面積 7,200㎡

(本件に関するお問い合わせ先)

総務部広報室 広報統括課長 高橋 雅史

TEL: 03-3436-7701

以上